

校長室だより No 8

2017年11月22日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「明日チャレ教室」 楽しむことが強み

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、様々なプログラムがあります。

今回は、明日チャレ教室に応募したところ、大変少ない確率でパラリンピックアスリートの根木慎志先生（2000年シドニーパラリンピック車いすバスケット日本代表キャプテン）をお招きして、明日チャレin東小を行うことができました。

明日チャレ体験型授業は、「子どもにとって貴重な、学びの機会を提供する体験型授業。パラアスリートと共にスポーツを体験し、リアルな声を聴くことでこれまで見ていた景色が変わり、新たな一步を踏み出すきっかけが生まれることでしょう。人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを身をもって体験することで、子どもたちの心が動き、新たな学びにつながります。

誰もが夢と希望を持って、いきいきと過ごせる社会を創る。これが私たちの掲げる“明日へのチャレンジ”、「あすチャレ!」です。」とホームページにあるように、障がいに関する理解のみならず、どうやって幸せにみんな生きていくかを体験を通して学べる機会となりました。

根木先生から、友達とは、自分のことのように思える人。だけど、全て一緒ではない。失敗しても応援してあげる、それは応援する人も応援される人も元気になる。友だちは応援し、応援される間柄がいい、とお話があり、スリーポイントシュートに挑戦する根木先生を応援しながら、なかなかゴールに入らないけどたくさん応援して、シュートが決まった瞬間は、自分のことのように、やったあ！という歓声でいっぱいになり、根木先生と友達になりました。

代表の子供たちが初めての車いすバスケットに挑戦し、見ているみんなは応援し、みんなで車いすバスケットの楽しさを感じました。最後には、先生チームも車いすバスケットに挑戦。私もボールを追いかけてましたが、なかなか、ボールに追いつけず、ボールを持って、思うように投げられませんでした。子供の応援の中、ものすごく楽しい時間を味わいました。

最後に、根木先生から、『これから大人になると、できないことがたくさん増えてくる。できないことばかりになる。根木先生は、できることはすごいけど、できないことは、恥ずかしいことだと昔は思っていたと……。高校三年で車いすの生活になった時、今まで簡単にできたことができなくなったけれど、車いすバスケットを紹介されて、下手くそでも、シュートが入るまで半年かかったけど、できなくても楽しい、下手だけど楽しい、ということを知り、できてすごい！よりも、できないけど楽しい！の方が本当に素晴らしいことだと知った。』とわかりやすくお話がありました。

そして、『障がいがある、障がいを持っている、と言われるけれど、今、この体育館でバスケットをしている時に、障害は無い。でもみんなと友達になって、3階の教室にいて給食を食べようとすると、エレベータが無い東小では、階段が障害になる。じゃあどうする？「みんなで担いでいく」そうだね、そうしてくれると階段は障害ではなくなる。障害はみんなで作ることも、無くすこともできる』とお話がありました。体と心に残る時間でした。

